

## 平成23年度国立大学法人東京海洋大学第3回教育研究評議会議事要録

日 時 平成23年6月7日（火）15時30分～19時10分

場 所 本部管理棟第1会議室（品川地区）

出席者 松山学長、竹内理事、苦瀬理事、河野副学長・附属図書館長、小川海洋科学部長、  
鶴田海洋工学部長、賞雅研究科長、石丸評議員、上村評議員、岩坂評議員、  
志摩評議員

陪席：飯澤事務局長、柿原海洋科学部副学部長、岩本海洋工学部副学部長

事務担当者：沼口総務部長、村野財務部長、杉本学務部長ほか事務関係者

### 議 事

議事に先立ち学長から、審議事項3について説明を求めるため、柿原海洋科学部副学部長及び岩本海洋工学部副学部長の陪席を得た旨の報告があった。

### 審議事項

#### 1 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

竹内理事から、資料1「平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」により説明があり、審議の結果、承認した。なお、引き続き字句等細部について精査し、所要の修正を行った上、経営協議会及び役員会の審議を経て、6月30日までに文部科学省に提出するので、意見等がある場合は、6月10日正午までに事務局に連絡することとした。

#### 2 東京海洋大学基金規則の制定について

学長から、資料2「国立大学法人東京海洋大学基金の設置について」により、大学基金の設置及び規則整備について説明があり、審議の結果、承認した。

#### 3 練習船に係る教育関係共同利用拠点の認定申請について

学長及び事務局から、資料3-1「教育関係共同利用拠点申請に係る学内規則の整備について」により、学則改正及び関係規則の整備について説明があり、併せて柿原、岩本両副学部長から、各学部における検討状況について補足説明があった。審議の結果、学則改正に関しては、文言を一部修正の上、当該改正を承認し、その他の規則整備についても大綱を了承した。

続いて、両副学部長から、資料3-2「平成24年度特別経費（プロジェクト分）概算要求事項の概要」他により、学部での検討状況及び概算要求事項の概要等について説明があり、意見交換を行った。

#### 4 学長候補適任者の推薦について

学長から、資料4「学長候補適任者の推薦について（依頼）」により、学長選考会議議長から教育研究評議会議長に対し学長候補適任者の推薦依頼があった旨の報告の後、同資料の「平成22年度～平成23年度 学長選考日程（予定）」により、今後の学長選考日程について説明があり、同日程に沿って進めていくことを確認した。

続いて学長から、国立大学法人東京海洋大学教育研究評議会が学長選考会議に推薦する学長候補適任者の選考に関する規則に基づき学内推薦投票管理委員会を設置し、教育研究評議会から委員1人を選出する旨の説明があり、審議の結果、志摩評議員を選出した。

なお、各学部の教授会構成員から選出する委員（各2人）については、各学部長に選出を依頼した。

## 報告事項

- 1 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について  
竹内理事から、資料5「第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について」により、第1期中期目標期間の業務実績評価結果について報告があった。
- 2 平成24年度概算要求事項について  
事務局から、資料6「平成24年度概算要求事項について（案）」により、平成24年度概算要求（特別経費、施設整備費）に係る要求事項（案）について、報告があった。
- 3 被災学生に対する経済支援について  
苦瀬理事から、資料7「被災学生に対する経済支援について」により東日本大震災により被災した学生を対象とする入学料免除、授業料免除及び経済支援給付制度の選考結果について報告があった。
- 4 外部資金の受入状況について  
竹内理事から、資料8「東京海洋大学における科学研究費助成事業・共同研究・受託研究の推移（平成17年度～平成22年度）／平成23年度科学研究費補助金 概況報告」により報告があった。
- 5 諸会議等の報告について  
(竹内理事)
  - ・留学生委員会について
  - ・研究推進委員会について
  - ・運河ルネサンス協議会について
  - ・東日本大震災被災地支援のプロジェクトについて
  - ・海洋基本法フォローアップ研究会について
  - ・社会貢献委員会について(苦瀬理事)
  - ・カッター訓練について
  - ・学生支援委員会について
  - ・全学教育委員会について
  - ・保護者懇談会について
- 6 その他
  - (1) 学長から、昨今、教職員の行動について社会的に問題となる事例が発生していることから、国立大学の教職員としての社会的責任を踏まえ、1) 法令遵守、2) 研究者倫理の厳守、3) 学生との良好な関係構築、等について自覚ある行動を取ってほしい旨の要請があった。なお、大学としては研修等を通じて改善を図っていくこととしているので、各部局においても協力願いたい旨の要請があった。
  - (2) 学長から、6月8日に天皇・皇后両陛下が御行幸啓され、明治丸特別展示をご覧になる旨の報告があった。
  - (3) 学長から、気仙沼市を往訪したことの報告及び三陸復興支援に係るプロジェクトに関する協力について報告があった。
  - (4) 評議員から、キャンパス内の放射線量について、学生の不安を解消するための測定及び公表の必要性について問題提起があり、対応について検討することとした。

以上